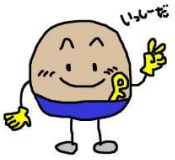
家庭数配付

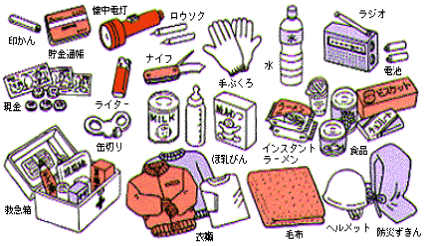
石田小学校だより　平成３０年度　防災特集号

悠紀だより



平成３０年９月３日　発行責任者 校長　野中るみ子

防災特集号・・・防災について学ぼう，災害に備えよう！



1923 年（大正 12 年）9 月 1 日，関東地区を襲い，10 万人以上の死者を出した大地震（関東大震災）に由来して，9 月 1 日が「防災の日」と定められました。この時期に毎年，防災に関する様々な訓練が行われます。私たちも，過去の災害を教訓に，実際をイメージした防災・減災について考え，子供たちにも引き継いでいかなければならないと思います。

今年度も，南西中学区・石田地区・本校において以下の取組が行われました。御家庭でも，防災・減災について改めて話題にし，備えていただければと思います。

南西中学区小中合同研修会

８月 20 日（月）国母小石田小南西中３校合同の研修会を実施しました。前半では，３校の教職員が学力向上に関する各校の取組を発表する中で情報交換を行い，後半では，地域防災に関する研修を行いました。防災教育に関する研修には，ＰＴＡ役員，学校評議員等地域住民の方にも加わっていただきました。講師としてＮＰＯ法人未来会代表の山下博史様をお招きし，被災地の実情と地域防災のあり方についてお話をいただきました。数多くの被災地で支援活動を行ってこられた山下様からは，被災地の実情を踏まえた上で，より実践的な防災・減災についてのアドバイスをいただきました。私たちは，それぞれの立場で，「意識」「知識」を持ち，「もの（物・者）の備え」をしていかなければならないということを改めて認識しました。

講演の後，７つのグループに分かれてＤＩＧ（災害図上訓練）を行いました。石田地区，国母地区それぞれの地図に，通学路や，災害に関する危険が予測できる箇所，避難のための経路や場所，避難に役立つ公共施設，医療機関などを書き入れながら，実際にどのような避難をするのが良いのか，グループで話し合いながら作業を進めました。市から出されているハザードマップを見ると，特に石田地区は，水害に気を付けなければならない地区であることを再認識することができました。保護者の方や地域の方からは，『水があふれそうな場所』『避難するのに危険な場所』等の話題も出していただき，他地区から通ってきている教職員にとってはとても参考になりました。今回の研修を，児童への防災・安全教育に生かしていきたいと思います。

石田地区防災訓練

8 月 26 日（日）石田小学校を会場に，石田地区防災訓練が実施されました。今年度は，小中学生 24 名が参加してくれました。小学生については，保護者の方と一緒に各地区の集合場所から避難してきました。中学生は，あらかじめ参加を募り，当日は個々で集まってくれました。

一連の流れの中で，小中学生は，放水訓練や担架搬送の訓練も体験しました。放水訓練では，中学生は一人でホースを持つ場面もありましたが，実際に握ってみると，すごい圧力がかかっていることを実感したようです。炊き出し，非常トイレの設置,居住区画設定,三角巾の使用法などを見たり体験したりできる場面がありました。

地域で助け合い被害を最小限に防ぐ『共助』の視点を，未来を担う子供たちも学んでいってくれればと願います。

休み時間中の避難訓練

8 月 31 日（金），休み時間に地震が発生したという想定で，避難訓練を実施しました。

この訓練は，担任がそばにいない場合でも，子供たちが落ち着いて安全に避難するための判断力と基本行動を身に付けさせることをねらいとしているものです。

10 時 22 分，訓練のための放送を流しました。校庭で遊んでいた児童は，校庭の中央に集まり，座りました。校舎内では，近くの教室の机の下にもぐる，落下物や倒れてくるものから離れるなどしながら身を守る姿勢をとった後，素早く校庭に避難しました。校舎内から出てくる児童も，真剣に素早く行動し，10 時 26 分には，全校児童が校庭への避難を完了しました。地震発生時は，まずは『落ちてこない，倒れてこない，移動してこないこと』を確認した上で自分の身を守る行動をとることが大切です。今回は，休み時間中の訓練ということで様々な場所にいたため，それぞれの場所で，まずは自分の身を守る行動がとれたか振り返りました。訓練を通して，子供たちが『自分の命は自分で守る』という意識を高めていってほしいと願い，今後も様々な訓練を行っていきたいと思います。

［この学校だよりは本校ホームページではカラー版でご覧になることができます］